

## 学 長 定 例 記 者 会 見 要 項

日 時：平成29年11月2日(木) 11:00～11:45

場 所：法人本部第二会議室(小白川キャンパス法人本部棟4階)

### 発表事項

1. 大学院生の治部あかねさんが  
紙による衣装デザインで2つの造形コンペティションに入賞
2. 大学院生が博物館で特別展  
「治部あかね×本間かりん二人展 つないで、つむいで」開催
3. 学校の内側からの改革と学びのネットワークづくり  
ー第7回やまがた教員養成シンポジウム「学びのフォーラム」の試みー
4. 学生の事故に係る総合対策本部の対応状況について

### お知らせ

1. 合同シンポジウム「有機エレクトロニクスを活用した未来の生活創造への女性研究者の参画」を開催します
2. 食料自給圏「スマート・テロワール」形成講座 収穫感謝祭&試食会を開催します
3. 平成29年度COC/COC+シンポジウム  
「オール山形による地域創生人材育成の今とこれから」を開催します
4. 第8回農林業・食料・環境を考える山形県民シンポジウム「私たちの挑戦」の開催

(参 考)

○ 次回の学長定例記者会見(予定)

日 時：平成29年11月15日(水) 11:00～11:45

場 所：法人本部第二会議室(小白川キャンパス法人本部棟4階)

## 学長定例記者会見(11月2日)発表者

### 1. 大学院生の治部あかねさんが

紙による衣装デザインで2つの造形コンペティションに入賞

大学院地域教育文化研究科 1年

治部<sup>じぶ</sup> あかね

### 2. 大学院の学生が博物館で特別展

「治部あかね×本間かりん二人展 つないで、つむいで」開催

大学院地域教育文化研究科

1年

治部<sup>じぶ</sup> あかね

//

1年

本間<sup>ほんま</sup> かりん

地域教育文化学部 造形芸術コース

4年

泉<sup>いずみ</sup> 千晶<sup>ちあき</sup>

### 3. 学校の内側からの改革と学びのネットワークづくり

ー第7回やまがた教員養成シンポジウム「学びのフォーラム」の試みー

学術研究院 准教授(教育学)

森田<sup>もりた</sup> 智幸<sup>ともゆき</sup>

地域教育文化学部 児童教育コース

4年

高橋<sup>たかはし</sup> 郁<sup>いく</sup>

//

4年

坂野<sup>さかの</sup> 葉月<sup>はづき</sup>

//

4年

鈴木<sup>すずき</sup> 祥美<sup>よしみ</sup>

### 4. 学生の事故に係る総合対策本部の対応状況について

学 長

小山<sup>こやま</sup> 清人<sup>きよひと</sup>

平成29年11月2日  
山形大学

## 大学院生の治部あかねさんが紙による衣装デザインで 2つの造形コンペティションに入賞

山形大学大学院地域教育文化研究科の治部あかねさんが「第27回紙わざ大賞」で『キッズアカデミー賞』を受賞、また「第9回紙のアートフェスティバル」に入選しました。治部さんは大学院で紙による衣装デザインを研究しており、2作品とも書物から得た幻想的なイメージをもとに制作しました。

### ☆ 第27回紙わざ大賞

「紙わざ大賞」は、紙の魅力や可能性をアピールするため創設された我が国のペーパーアート界を代表する伝統あるコンペティションです。

今年度で第27回を迎える同大賞展において、応募総数372点の中から、地域教育文化研究科文化創造専攻造形芸術分野1年の治部さんの作品《noble》が『キッズアカデミー賞』に選ばれました。

#### 【概要】

主催 特種東海製紙株式会社

協賛 王子エフテックス株式会社、新生紙パルプ商事株式会社、株式会社竹尾、平和紙業株式会社

入賞作品展 期間：平成29年10月24日(火)～28日(土)

会場：東京交通会館（東京都千代田区有楽町2-10-1）



#### ■ 紙わざ大賞

##### ● 要項

[https://www.tt-paper.co.jp/pam/kamiwaza/pdf/kamiwaza27\\_bosyu.pdf](https://www.tt-paper.co.jp/pam/kamiwaza/pdf/kamiwaza27_bosyu.pdf)

##### ● 審査結果

<https://www.tt-paper.co.jp/pam/kamiwaza/app/files/uploads/2017/10/59347c39f0a9bd3f0a6061dfd7876e6d.pdf>

治部あかねさんの作品《noble》

第27回紙わざ大賞

「キッズアカデミー賞」受賞

すべて紙で出来ています。

## ☆ 第9回紙のアートフェスティバル2017

紙の生産地として知られる富士市（静岡県）が主催する「紙のアート」の作品展です。全国公募により選ばれた作品が、「第9回アートフェスティバル2017」において展示されます。治部さんの作品『艶』は、応募総数5点の中から、入選作品3点のうちの1つに選ばれ、平成29年10月20日(金)～12月10日(日)の期間中、富士芸術村(静岡県富士市大淵1516)で展示が行われています。

### 【概要】

主催 富士市

協力 一般社団法人 富士芸術村

### ■紙のアートフェスティバル

<http://www.city.fuji.shizuoka.jp/kyouiku/c0401/fmervo000001mgqc.html>



治部あかね さんの作品《艶》 第9回紙のアートフェスティバル入選

古民家をリノベーションした会場（富士芸術村）に美しく展示されています。

(お問合せ先)

学術研究院 教授 小林俊介（地域教育文化研究科担当）

TEL:023-628-4329 Mail:shun@e.yamagata-u.ac.jp

平成29年11月2日  
山形大学

## 大学院生が博物館で特別展 「治部あかね×本間かりん二人展 つないで、つむいで」開催

山形大学大学院の学生、治部あかねさんと本間かりんさんが山形大学附属博物館での特別展を企画しました。2人がアートと社会のつながりを意識して制作した作品を展示します。学生の企画による対話型ギャラリートークもあります。ぜひお越しください。

☆山形大学附属博物館で、本学大学院の学生、治部あかね(じぶ あかね)さんの研究「紙の衣装」と、本間かりん(ほんま かりん)さんの研究「地域を主題にした平面作品」による特別展示を行います。同博物館での現役大学院生による特別展示は昨年度好評を頂いた「不可視の博物誌」(川橋勇人さん)に続く第2回目となります。

治部さんは書物などから得たイメージソースをもとに、紙の衣装デザインを研究しています。本間さんは消滅可能性集落である鶴岡市の大鳥地区の調査を元に、人と自然との関わりを題材とした絵画作品を研究・制作しています。治部さんは物語と素材を、本間さんは地域と人々をアートによって「つなぐ」展示を試みます。

☆学生による対話型ギャラリートークがあります。

作品を囲んで鑑賞者同士の交流を図るギャラリートークを行います。

### 【実施概要】

主催 山形大学大学院地域教育文化研究科文化創造専攻造形芸術分野  
山形大学附属博物館

協力 泉千晶(山形大学地域教育文化学部造形芸術コース4年)

会場 山形大学附属博物館(山形大学小白川キャンパス内)

会期 平成29年11月20日(月)～12月8日(金)

休館日 11月23日(木・祝)、26日(日)、12月3日(日)

開館時間 9時30分～17時(ただし、土曜日は11時～17時)

入館料 無料

### 【関連行事】

ギャラリートーク 12月6日(水) 16時20分から

(お問合せ先)

学術研究院 教授 小林俊介(地域教育文化研究科担当)

TEL:023-628-4329 Mail:shun@e.yamagata-u.ac.jp



# つないで、 つむいで、

治部あかね × 本間かりん  
二人展



2017 年  
11月20日(月)～12月8日(金)

開館時間：9時30分～17時（ただし土曜日は11時～17時）

休館日：11月23日（木・祝）、26日（日）、12月3日（日）

ギャラリートーク：12月6日（水）16時20分

---

山形大学附属博物館 入場無料

〒990-8560 山形県山形市小白川町1丁目4-12 TEL 023-628-4930 FAX: 023-628-4668

E-mail: [hakukan@jm.kj.yamagata-u.ac.jp](mailto:hakukan@jm.kj.yamagata-u.ac.jp)

アクセス：JR山形駅から「ベニちゃんバス東くるりん東原町先回りコース」  
乗車「山大前」下車徒歩1分。平日のみ山形大学専用駅循環シャトルバス運行。  
詳しくは山形大学附属博物館HPをご覧ください。

平成29年11月2日

山形大学

## 学校の内側からの改革と学びのネットワークづくり

### ―第7回やまがた教員養成シンポジウム「学びのフォーラム」の試み―

約30年間、学校には、「21世紀型の学び」、「21世紀型の学校」などをキーワードとした学びの変革が求められてきました。平成29年3月に告示された新学習指導要領でも「主体的・対話的で深い学び」の実現を学校に求めています。こうした要請が増える中で、学校には新たな教育方法が導入され、その方法のマニュアルや解説が増加しています。

その背景で減少しているのが、教師が教育学や学習科学の理論を実践と照らし合わせながら学ぶ機会です。そのため、大学院教育実践研究科担当の教員を中心とした「やまがた教員養成シンポジウム」プロジェクトチームでは、理論を実践的に学ぶ機会をデザインすることを課題として研究を推進してきました。

そこで本プロジェクトチームは、2015年度より、高校生と大学生の合同ゼミナールと認知科学・学習科学を学ぶアクティブ・ラーニング型シンポジウムを2つの柱とした学びの場づくりを発案し、実施してきました。合同ゼミを通して、「学ぶとはどういうことか」に関する理解を深め、その実現に向けて考えるべき課題が浮上してきました。今年度は、高校生と大学生の合同ゼミナールを拡大し、その他参加者を巻き込んでの拡大合同ゼミとしての「学びフォーラム」を企画しました。今年度も認知科学者として国際的に活躍されてきた佐伯胖氏（東京大学名誉教授）をお招きします。

#### ◆研究の背景

約30年間、学校には、「21世紀型の学び」、「21世紀型の学校」などをキーワードとした学びの変革が求められてきました。平成29年3月に告示された新学習指導要領でも「主体的・対話的で深い学び」の実現を学校に求めています。こうした要請が増える中で、学校には新たな教育方法が導入され、その方法のマニュアルや解説が増加しています。

その背景で減少しているのが、教師が教育学や学習科学の理論を実践と照らし合わせながら学ぶ機会です。そのため、大学院教育実践研究科担当の教員を中心とした「やまがた教員養成シンポジウム」プロジェクトチームでは、理論を実践的に学ぶ機会をデザインすることを課題として研究を推進してきました。

#### ◆理論を実践的に学ぶ場をデザインする

そこで本プロジェクトチームは、2015年度より、高校生と大学生の合同ゼミナールと認知科学・学習科学を学ぶアクティブ・ラーニング型シンポジウムを2つの柱とした学びの場づくりを発案し、実施してきました。

目的は大きく2つあります。第一に、教師や教育行政関係者、教育研究者が、最新の認知科学・学習科学の理論的知見と出会う機会をつくと同時に、合同ゼミにおける高校生と大学生による学び合いの様子を見ることを通して「学ぶとはどういうことか」のイメージを共有する機会とすることです。

第二に、教師教育における高大接続として機能させることです。教育や学びは、日々授業に出ている高校生にとって身近であるにもかかわらず、教育学や学習科学との接点はまだまだ少ないのが現状です。合同ゼミへの参加を通して、そうした理論との接点をつくり、教育や学びをめぐる学問のイメージをもってもらいたいというねらい

があります。

◆研究の成果—第7回やまがた教員養成シンポジウム「学びフォーラム」の試み—  
—昨年度、昨年度の実施による成果の一つは、参加した高校生が教師を志望し、また、教育学を学ぶことを志し、地域教育文化学部に入っている点にあります。昨年度のシンポジウムでは、230名の参加者を集め、さらに、高校生も9校から56名が参加しました。参加した高校生の中から、10名弱が山形大学地域教育文化学部に入っています。その中から2名が、今年度から運営している地域教育文化学部児童教育コースのチャレンジプログラム（大学院教育実践研究科との6年一貫プログラム）を選択しています。

もう一つの成果は、高校生から出された問いにあります。これが今年度の企画である「学びのフォーラム」の核となっています。—昨年度、昨年度と実施する中で、高校生から以下の質問がでました。“30年前に明らかになっていた学びの理論は、学び手として強く納得できるものであるにもかかわらず、なぜ私たちの高校の今の授業に生かされていないのか”。さらに、昨年度には以下のような質問が出ました。より多くの先生方にアクティブ・ラーニングの授業をしてもらうために私たち高校生にできることはないのか”。

理論との接点をつくってきたものの、それをどのように実践につなげていくかについて、本プロジェクトにおいては十分に議論できていません。

そこで、今年度12月10日（日）に開催される第7回やまがた教員養成シンポジウムでは、これら2つの問いに現時点での答えを出すことをゴールとして設定しました。高校生はもちろん、教師、教育行政関係者、教育研究者、保護者など、学びにかかわる多様な人たちとの議論の場として、シンポジウムの第二部（午後）「学びフォーラム」を企画しました。学びフォーラムでは、高校生と大学生の合同ゼミナールを拡大し、参加者を交えたゼミナールを実施します。問いは、「なぜ30年前から明らかにされてきている学びの理論は、教師／生徒／市民／行政の常識になっていないのか」、そして、「生徒が／教師が（同僚の）／校長が／行政が、学校の先生にもう少しアクティブ・ラーニングしてもらうにはどうしたらいいのか」です。この問いへの答えの質を高めるために、昨年度に引き続き、長年認知科学者として「学び」を問い続けてきた佐伯胖氏（東京大学名誉教授・田園調布学園大学教授）をお招きします。

シンポジウムの第一部（午前）は「学ぶとはどういうことか」を論題としたゼミナールの過程を公開します。テキストは佐伯胖著『「わかり方」の探究』です。11月18日（土）19日（日）両日にプレ企画として合同ゼミナール第一回と第二回を行います。高校生や大学生の議論の内容、さらには、協同的な探究のスタイルを見ることを通して、よりよい学びについて参加者全員で考える機会とします。

（お問合せ先）

学術研究院・准教授 森田智幸（教育学）

E-mail : morita@e.yamagata-u.ac.jp

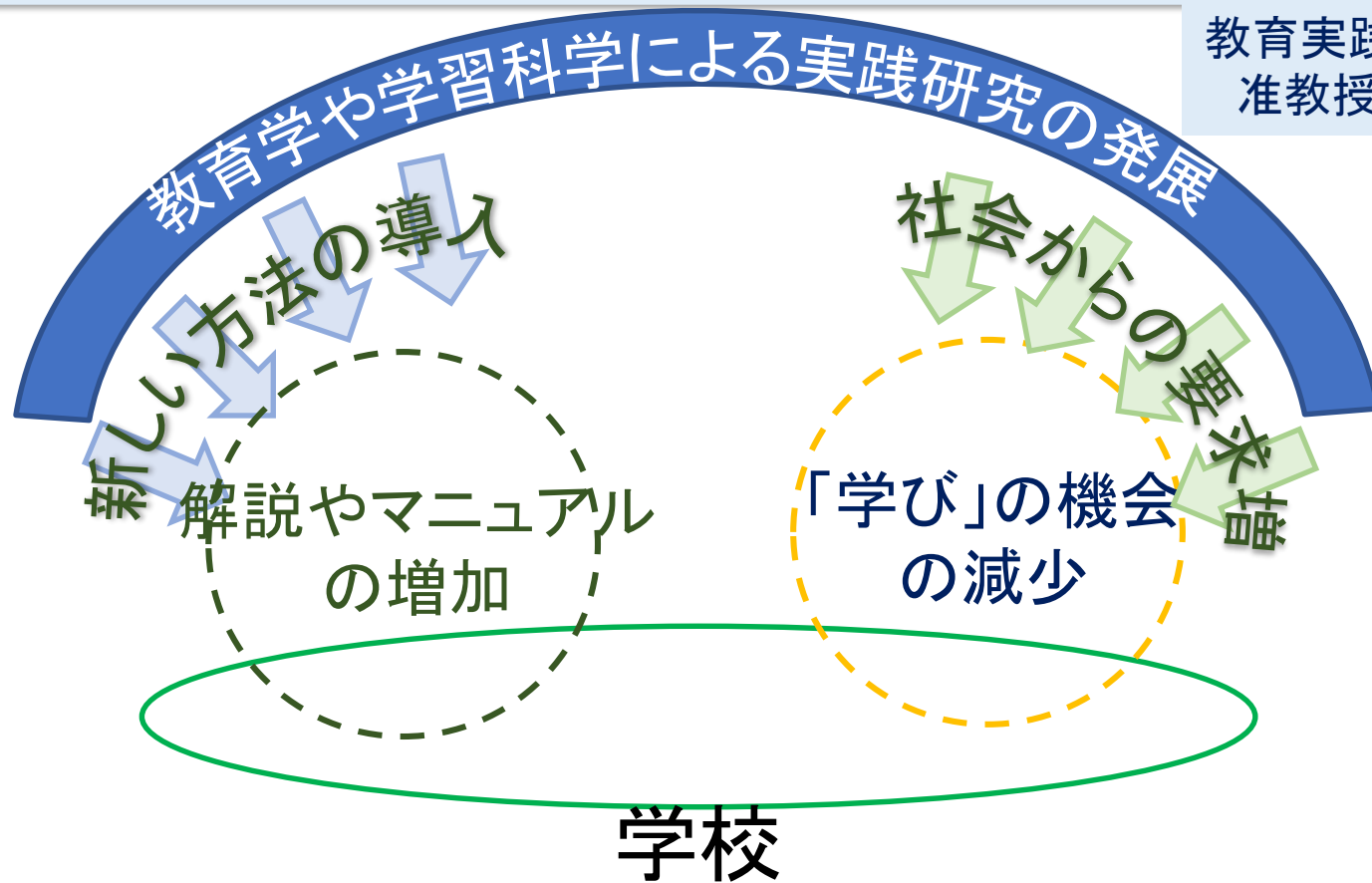
電話 023（628）4396



# 学校の内側からの改革と学びのネットワークづくり

—第7回やまがた教員養成シンポジウム「学びのフォーラム」の試み—

教育実践研究科担当  
准教授 森田 智幸



# 学校の内側からの改革と学びのネットワークづくり —第7回やまがた教員養成シンポジウム「学びのフォーラム」の試み—

## シンポジウムのデザイン

高校生と大学生  
の合同ゼミ



実感する

アクティブラーニング型  
シンポジウム



イメージ  
する

学び合う

成果①: 教師教育の高大接続

- ・合同ゼミ参加者が地域教育文化学部を受験し進学していること。
- ・進学後、大学院教育実践研究科との六年一貫プログラム「チャレンジプログラム」を選択している学生がいること。

成果②: 高校生から出てきた問い

- ①30年前に既に明らかになっている学びの理論には納得できるが、私たちの授業になぜ反映されていないのか？
- ②先生たちにアクティブ・ラーニングをしてもらうために私たちにできることは何か？ ⇒ 拡大合同ゼミ「学びのフォーラム」へ

# 第7回やまがた教員養成シンポジウム

## 12月10日(日)

山形大学  
小白川キャンパス  
基盤教育1・2号館

### 第一部

＜大学生と高校生の合同ゼミ公開＞

10時～12時30分

学ぶとはどういうことか

コーディネーター：森田智幸(山形大学准教授)

＜教師教育の高大接続の新たな形＞

県内の高校生をまきこみ、山形の教育を支える教師を  
地元の大学で育てる取り組みです。



### 第二部

＜学びフォーラム＞

13時30分～16時00分

質の高い学びの実現に向けて

「学びフォーラム」とは：

高校生と大学生の合同ゼミに、一般参加者も加わり、質の高い学びの実現に向けて各自ができることは何か話し合います。

＜話題提供＞

東京大学 名誉教授  
田園調布学園大学 教授

佐伯 胖 氏



認知科学の領域で  
「学び」研究を牽引  
してきた研究者です。





第7回やまがた教員養成シンポジウムプレ企画

# 高校生と大学生の 合同ゼミナール 学ぶとは どういうことか



主催: 山形大学大学院教育実践研究科  
山形大学地域教育文化学部  
公益財団法人やまがた教育振興財団  
共催: 東北文教大学  
後援: 山形県教育委員会

11月  
18日(土)  
19日(日)

13時～16時30分

＊30分の休憩有

会場: 山形大学小白川キャンパス

基盤教育1号館多目的ホール

担当教員: 森田智幸(山形大学准教授)

- ◆両日参加、どちらかの日程に参加、どちらも可能です。
- ◆12月10日(日)のシンポジウムにも参加できる方を募集します。
- ◆11月18日・19日は9時半から部屋を開放します。昼食はありませんので、昼食持参の上、ご利用ください。
- ◆検討文献はこちらで用意します。
- ◆服装は自由です。

## 企画 の 趣旨

山形大学大学院教育実践研究科と地域教育文化学部は、公益財団法人やまがた教育振興財団、東北文教大学とともに「やまがた教員養成シンポジウム」を開催し、7回目を迎えます。本シンポジウムでは、平成27年度から、広く市民とともに地域の学びについて考える場を創出することをねらいとして高校生と大学生の合同ゼミナールを立ち上げました。本ゼミでは「学ぶとはどういうことか」をテーマにこれまで議論を積み重ねてきました。

社会では今まで以上に「学びの質」が問われるようになり、学校における学びの変革を求めています。新学習指導要領でも、改訂のキーワードとして「主体的で対話的で深い学び」が掲げられ、学び方を問う改革を求めています。しかし、社会は、その内側にいる学び手の声にはあまり耳を傾けてきませんでした。よりよい学びとは。高校生のあなたなら、どのように答えますか。本ゼミを通じて、この問いに対する答えを協同的に考えてみたいのです。方法は、共通する文献を読み、議論するというシンプルなもの。高校生のみなさんには、大学での学びを実際に体験する機会になればとも思っています。将来教師を志望しているなど、教育に関心のあるたくさんの高校生の参加をお待ちしております。

12月10日には、昨年度に引き続き、長年国際的な認知科学者として第一線で活躍し、また、本ゼミの検討文献の著者である東京大学名誉教授の佐伯胖氏をお招きしています。シンポジウムでは、著者も交えて議論する予定です。

## 申込方法

- ◆参加を希望する方は、担当の先生に申し込んでください。
- ※担当の先生は、参加者の氏名・所属・学年を記載の上、山形大学森田(morita@e.yamagata-u.ac.jp)宛にメールにてお申込みください。
- ◆締め切りは11月10日(金)です。
- ◆定員は30名です。申込締め切前に定員に達した場合は、その時点で受付を締め切ります。あらかじめご了承ください。

## 問い合わせ先

山形大学地域教育文化学部事務室総務担当

E-mail: kyosoumu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

TEL: 023(628)4304

FAX: 023(628)4313



第7回やまがた教員養成シンポジウム

# 質の高い学びの 実現に向けて

## —学びのフォーラムの試み—



主催: 山形大学大学院教育実践研究科  
山形大学地域教育文化学部  
公益財団法人やまがた教育振興財団  
共催: 東北文教大学  
後援: 山形県教育委員会



**12月  
10日(日)  
10時~16時**

**会場: 山形大学小白川キャンパス  
基盤教育1号館・2号館**

### 第一部

#### <大学生と高校生の合同ゼミ(公開)>

10時~12時30分

### 学ぶとはどういうことか

コーディネーター: 森田智幸(山形大学准教授)

\* 高校生と大学生による議論をもとに、参加者全員で「学び」について考えます。

### 第二部

#### <学びフォーラム>

13時30分~16時00分

## 質の高い学びの実現に向けて

#### <話題提供>

東京大学 名誉教授  
田園調布学園大学 教授

**佐伯 胖 氏**



\* 参加者も合同ゼミに加わり、質の高い学びの実現に向けて各自ができることは何か話し合います。  
\* オブザーバーとしての参加も歓迎します。

#### <申込方法>

◆ 参加費は無料です。参加を希望する方は、以下のメールまたはFAXに氏名と所属と連絡先、第一部・第二部の参加について記入の上、お申込みください。

◆ 締切は2017年12月4日(月)です。

◆ 定員は200名です。定員に達した場合は、その時点で受付を締め切ります。

◆ 当日申し込みも受け付けておりますが、定員の関係上、会場に入れない可能性もあります。

◆ 第一部は9時30分、第二部は13時より受付を開始します。

◆ ご来場の際には、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

◆ なお、当日は、基盤教育1号館北側の駐車場を開放します。ゲートは平常時閉まっていますので、以下の時間帯のみ、ゲートを開放します。

・ 9時00分から9時50分

・ 12時45分から13時20分

駐車場のスペースには限りがあります。あらかじめご了承ください。

#### 問い合わせ先

山形大学地域教育文化学部事務室総務担当

TEL: 023(628)4304

FAX: 023(628)4313

E-mail: kyosoumu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp



送信先：山形大学地域教育文化学部事務室総務担当 宛

FAX: 023-628-4313

## 第7回 やまがた教員養成シンポジウム 質の高い学びの実現に向けて —学びのフォーラムの試み—

◆ 上記シンポジウムに参加ご希望の方は、本申込書に記入の上、上記へFAX願います。

申込締切：平成29年12月4日（月）

### 参加申込書【FAX専用】

|                                                 |              |
|-------------------------------------------------|--------------|
| 氏名(代表者)                                         | 職業(ご所属)(代表者) |
| 連絡先                                             | 電話番号         |
| 住所                                              | E-Mailアドレス   |
| 午前のみ参加 ・ 午後のみ参加 ・ 午前午後ともに参加<br>※いずれかに丸をつけてください。 |              |
| 氏名                                              | 職業(ご所属)      |
| 連絡先                                             | 電話番号         |
| 住所                                              | E-Mailアドレス   |
| 午前のみ参加 ・ 午後のみ参加 ・ 午前午後ともに参加                     |              |
| 氏名                                              | 職業(ご所属)      |
| 連絡先                                             | 電話番号         |
| 住所                                              | E-Mailアドレス   |
| 午前のみ参加 ・ 午後のみ参加 ・ 午前午後ともに参加                     |              |

\*お申し込みの際にいただいた個人情報は、本会のみ利用させていただき、それ以外の目的での利用はいたしません。また、本会開催後に破棄させていただきます。

平成29年11月2日  
山形大学

## 学生の事故に係る総合対策本部の対応状況について

山形大学では、小白川キャンパス内において発生した学生の死亡事故を受け、学長を本部長とする総合対策本部を平成29年10月24日に設置しました。

対策本部では、大学全体として再発防止対策及び学生のケアに取り組むため、全学をあげて対応に取り組んでいます。

### 1. 設置の経緯等

小白川キャンパス内において発生した学生の死亡事故を受け、大学全体として再発防止対策及び学生のケアに取り組むため、10月24日、学長を本部長とした総合対策本部を設置しました。

### 2. 総合対策本部での対応状況

24日(火)・大学全体として再発防止対策及び学生のケアに取り組んでいくことを決定

25日(水)・安全対策として、建物3階以上の窓サッシの開閉制限を措置  
・学生への学長メッセージを学生向け専用ホームページや掲示にて発信  
(留学生向けに英語版も発信)

27日(金)・学生の各種相談窓口をよりわかりやすくするため、相談窓口情報を集約し、大学のホームページのトップからのリンクを設置  
・全学部においてアドバイザー教員\*から学長メッセージと学生の相談窓口について学生一人ひとりに手渡し、学生に対するメンタルケアに着手  
・学生に対するメンタルケアの一環として、早急に「学生生活チェックシート」による問診の実施を決定

28日(土)、29日(日) 悩みを抱える学生への対応のため、臨時の電話相談窓口を設置(本事案と関連する相談はなし)

31日(火)・全学部長を招集し、これまでの対応と課題を共有

2日(木)・日本学生相談学会のガイドラインを参考にして、本学教員向け「学生の事故防止のためのガイドライン(山形大学学生の事故に係る総合対策本部版)」を作成し配布

#### ※アドバイザー教員

山形大学では、きめ細かな指導を行うため、それぞれの学生にアドバイザーとなる教員が決まっており、修学面・生活面に問わず様々な相談にのり、指導・助言を行っています。

(お問合せ先)  
総務部長 矢作 清  
電話 023-628-4002

平成 2 9 年 1 1 月 2 日  
山 形 大 学

**\* 詳細は別添の資料をご覧ください。**

## 1. 合同シンポジウム「有機エレクトロニクスを活用した未来の生活創造への女性研究者の参画」を開催します

山形大学、大日本印刷株式会社研究開発センター、山形県立米沢栄養大学の3機関は、平成27年度文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（連携型）」の採択を受け、連携して事業に取り組んでいます。このたびの3機関合同のシンポジウムでは、3年間の取組みの中間報告を行い、事業の効果を振り返ります。

日 時：平成29年12月4日（月）13：15～16：30

場 所：山形大学米沢キャンパス11号館 2階未来ホール

## 2. 食料自給圏「スマート・テロワール」形成講座 収穫感謝祭&試食会を開催します

平成28年4月から設置した寄附講座 食料自給圏「スマート・テロワール」形成講座のこれまでの取り組み紹介と得られた成果をご紹介します。ハム・ソーセージなどの畜肉加工品や本年度に収穫した農産物の厳選素材を用いた加工品の試食会を行います。

開催日：平成29年11月28日（火）13：30～

場 所：グランド エル・サン（鶴岡市東原町）

## 3. 平成29年度COC/COC+シンポジウム 「オール山形による地域創生人材育成の今とこれから」を開催します

地域と大学の協働による人材育成に関わる基調講演や事例紹介、パネルディスカッションを通して、山形における地域創生人材の育成について考えていきます。

日 時：平成29年12月15日（金）13：00～16：20

会 場：山形国際ホテル

申込締切：平成29年11月30日（木）

※参加無料、定員120名

## 4. 第8回農林業・食料・環境を考える山形県民シンポジウム「私たちの挑戦」の開催

開催日：平成29年11月17日（金）13：00～16：00

場 所：東京第一ホテル鶴岡

※参加無料、申込不要



**※これまでの定例会見でお知らせしたもので、開催が迫っているイベント**

**◎ 第10回学長特別講演会シリーズ「山形から世界へ」**

「グローバル社会における日本の存在感向上のために」と題して、米国先端政策研究所上級研究員 グレン・S・フクシマ氏にご講演いただきます。

日 時：平成29年11月6日（月）16：30～18：00

会 場：小白川キャンパス 基盤教育2号館2階222教室

**※調印式の予定**

**◎ 企業主導型事業所内保育所の設置・運営に関する相互協力及び連携についての調印式**

（詳細は、あらためて通知します。）

日 時：平成29年11月8日（水）11：30～12：00

会 場：法人本部棟 3F第一会議室

出席者：株式会社山形銀行頭取 長谷川 吉 茂  
山形大学学長 小 山 清 人

平成29年11月2日

山形大学

## 合同シンポジウム「有機エレクトロニクスを活用した 未来の生活創造への女性研究者の参画」を開催します

山形大学、大日本印刷株式会社研究開発センター、山形県立米沢栄養大学の3機関は、平成27年度文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（連携型）」の採択を受け、連携して事業に取り組んでいます。

12月4日（月）に3機関合同のシンポジウムを米沢キャンパスで開催し、3年間の取組の中間報告を行い、事業の効果を振り返ります。

### 1 シンポジウム

「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（連携型）」事業の3年目にあたり、中間報告を行います。シンポジウムのテーマは、「有機エレクトロニクスを活用した未来の生活創造への女性研究者の参画」です。地域の豊かな未来の生活を創造していくうえで、女性研究者の参画が必要です。基調講演では、国立研究開発法人科学技術振興機構 プログラム主管の山村康子氏を講師に迎え、女性研究者支援の現状や課題とともに、女性研究者が未来を拓く可能性についてもお話いただき、今後の本事業の一層の発展を図ります。

関心のある皆様はじめ、企業や行政の皆様の参加をお待ちしています。

日 時：平成29年12月4日（月）13：15～16：30

場 所：山形大学米沢キャンパス11号館 2階未来ホール

内 容：1. 基調講演「女性研究者支援・育成の現状と今後～未来の生活創造への女性研究者の参画～」

山村康子氏（国立研究開発法人科学技術振興機構 プログラム主管）

2. 取組の報告

（※休憩 ～女性研究者によるポスター発表および技術発表あり～）

3. 研究成果の報告

4. サービスデザインプロジェクトの報告

申 込：11月20日（月）までにFAX・電話・メール・ホームページで申込み。参加は無料。託児は要予約。

### 2 ポスター展示

女性代表共同研究制度などの支援制度を利用することにより、本事業では女性研究者の業績が向上しました。12月4日（月）から12月8日（金）まで11号館 2階ラウンジにポスターを展示します。どうぞ自由にご覧下さい。

（お問合せ・申込み先）男女共同参画推進室米沢分室

TEL：0238-26-3356／3359 FAX：0238-26-3398

Email: y-danjoyz@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

# 有機エレクトロニクスを 活用した未来の生活創造への 女性研究者の参画



日時

2017  
**12.4**月  
13:15-16:30

場所

山形大学  
米沢キャンパス 11号館  
2階 未来ホール

〒992-8510 山形県米沢市城南四丁目3番16号

**無料**

どなたでも参加自由です。  
※要申し込み。  
詳しくは裏面をご覧ください。

託児付き



## プログラム

- |       |                                                                              |
|-------|------------------------------------------------------------------------------|
| 来賓祝辞  | 文部科学省 科学技術・学術政策局(予定)                                                         |
| 基調講演  | 「女性研究者支援・育成の現状と今後<br>～未来の生活創造への女性研究者の参画～」<br>山村康子氏(国立研究開発法人科学技術振興機構 プログラム主管) |
| 取組の報告 | 「ダイバーシティ研究環境の実現に向けて<br>～3年間の実績報告と今後の展開について～」                                 |

14:55～15:15 休憩(ポスター発表及び研究技術発表)

- |                      |                                                                                                                                      |
|----------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 研究成果の報告              | 「有機エレクトロニクスデバイス作製に向けた印刷技術の開発」<br>泉 小波(山形大学 有機エレクトロニクス研究センター 産学連携准教授)<br>「栄養成分値からみた『米沢らーめん』の展望」<br>金光秀子(山形県立米沢栄養大学 健康栄養学部 健康栄養学科 准教授) |
| サービスデザイン<br>プロジェクト報告 | 「～女性にとって『快適で豊かな未来の生活』をデザインする～<br>共創型サービスデザイン・プロジェクトの概要と活動報告」<br>大日本印刷株式会社 情報イノベーション事業部 松尾佳菜子/松田久仁子                                   |

## 女性研究者ポスター発表

展示期間: 12月4日(月)～12月8日(金)まで  
場所: 11号館 2階ラウンジ

問合せ・申込み先

国立大学法人山形大学 男女共同参画推進室米沢分室 〒992-8510 山形県米沢市城南4-3-16  
TEL:0238-26-3356/3359 FAX:0238-26-3398 E-mail:y-danjoyz@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

主催: 国立大学法人山形大学・大日本印刷株式会社研究開発センター・山形県立米沢栄養大学 共催: 大学コンソーシアムやまがた 後援: 山形県・米沢市





## 開催趣旨

山形大学、大日本印刷株式会社研究開発センター、山形県立米沢栄養大学の3機関は、平成27年度文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(連携型)」の採択を受け、「有機エレクトロニクスを活用した未来の生活創造への女性研究者の参画」をテーマに連携して取り組んでいます。

6年間の事業期間の中で今年度は中間年にあたります。このたびの中間報告のシンポジウムでは、女性研究者の研究成果を報告し、3年間の実績や事業の効果を振り返ります。

地域の豊かな未来の生活を創造していくうえで、女性研究者の参画が必要です。基調講演では、国立研究開発法人科学技術振興機構 プログラム主管の山村康子氏を講師に迎え、女性研究者支援の現状や課題とともに未来を拓く可能性についてご講演をいただき、今後の本事業の一層の発展を図ります。

## 交通のご案内

### 山形大学 米沢キャンパス 11号館2階 未来ホール

〒992-8510 山形県米沢市城南四丁目3番16号

- JR米沢駅から  
・ 南西へ約3km(徒歩約40分)  
・ 市内路線バス「白布温泉」行きで「城南二丁目」下車(所要時間約11分)、そこから徒歩約3分  
・ 市街地循環バス右回りで「山大正門」下車(所要時間約15分)
- JR南米沢駅(米坂線)から  
北西へ約500m(徒歩約5分)

駐車場・会場については公式ホームページにて詳細をご確認ください。



申込締切：2017年11月20日(月) 必着

## 参加申込書

下記の連絡先等をご記入の上、このままFAXしてください。  
(選択項目はレ点チェックをご記入ください。)

FAX: 0238-26-3398

|                           |                                                               |                                                          |                                                         |
|---------------------------|---------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------|
| お名前                       |                                                               |                                                          |                                                         |
| ご住所                       | 〒 ー                                                           |                                                          |                                                         |
| 電話番号                      |                                                               | メールアドレス                                                  |                                                         |
| 所属                        |                                                               |                                                          |                                                         |
| 情報交換会への参加                 | 情報交換会 / 17:00 ~ 18:30<br>場所 / カフェ吾妻(百周年記念会館内)<br>参加費 / 3,000円 | <input type="checkbox"/> 参加 <input type="checkbox"/> 不参加 |                                                         |
| 本事業のイベント情報の配信             | <input type="checkbox"/> 希望する <input type="checkbox"/> 希望しない  |                                                          |                                                         |
| 託児を希望する場合は、下記の項目もご記入ください。 |                                                               |                                                          |                                                         |
| お子様の名前                    | ふりがな                                                          | 年齢                                                       | 歳 カ月                                                    |
| 性別                        | <input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女         | アレルギー                                                    | <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし |
|                           |                                                               | アレルギーの種類                                                 |                                                         |
|                           |                                                               | その他、託児における要望など                                           |                                                         |

※ご記入いただいた個人情報は、厳密に管理し、本事業の案内を希望された方に対してのみ、使用いたします。  
※託児の定員は5名とさせていただきます。

Webからも申込み可

公式ホームページからお申し込みになれます。詳しい情報を掲載しておりますので、ご覧ください。

問合せ・申込み先

国立大学法人山形大学 男女共同参画推進室米沢分室

TEL: 0238-26-3356/3359 FAX: 0238-26-3398 E-mail: y-danjoyz@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

山形大学 ダイバー

検索





平成29年11月2日  
山形大学

寄附講座 食料自給圏「スマート・テロワール」形成講座

## 収穫感謝祭&試食会を開催します

11月28日（火）に、「平成29年度庄内スマート・テロワール収穫感謝祭」～実証プロジェクトの紹介と試作した加工品の試食会～を開催します。

### インフォメーション

平成28年4月から寄附講座 食料自給圏「スマート・テロワール」形成講座を設置し、庄内地域に食料自給圏を構築するための取り組みを行ってきました。特に、この取り組みでは、山形大学農学部と地域の加工業者やスーパー様と連携して、美味しい加工品を作り、地域の皆さまに提供することを目標としております。そこで、これまでの取組内容と得られた成果をご紹介するとともに、その成果品の一つとして、ハム・ソーセージなどの畜肉加工品や本年度に収穫した農産物の厳選素材を用いた加工品の試食会を行います。

◎「平成29年度庄内スマート・テロワール収穫感謝祭」  
～実証プロジェクトの紹介と試作した加工品の試食会～

開催日時：平成29年11月28日（火）13：30～

開催場所：グランド エル・サン（鶴岡市東原町）

内 容：収穫感謝祭の開催にあたって

－寄附講座「実証プロジェクトの意義－

カルビー株式会社相談役

松尾 雅彦

山形大学が取り組む実証プロジェクトの概要

学術研究院 教授（農学部担当）

浦川 修司

成果の紹介1

学術研究院 助教（農学部担当）

中坪 あゆみ

2－1

株式会社東北ハム代表取締役社長

帯谷 伸一

2－2

学術研究院 准教授（農学部担当）

松山 裕城

3

山形県農業会議

五十嵐 淳

ハム・ソーセージや厳選素材を用いた農産物の加工品の試食会

（お問合せ先）

鶴岡キャンパス事務室附属施設担当

TEL：0235-24-2278



|                             |            |    |
|-----------------------------|------------|----|
|                             | 平成29年度     | 庄内 |
|                             | スマート・テロワール |    |
| 実証プロジェクトの紹介と<br>試作した加工品の試食会 | 収穫感謝祭      |    |

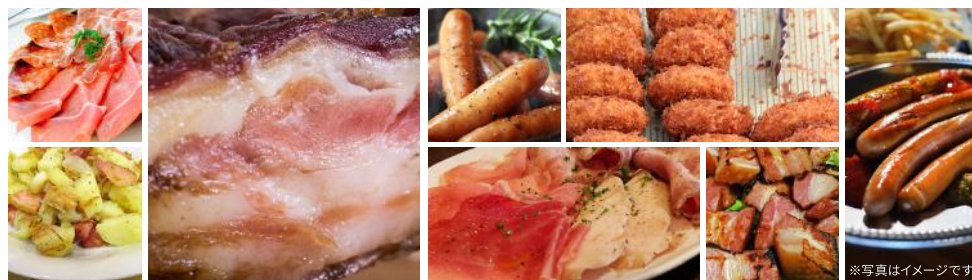
スマート・テロワールは株式会社カルビー相談役 松尾雅彦氏が、著書「スマート・テロワール」で提唱している農村の未来像であり、畑作と畜産の連携を図って農畜産物を生産し（**耕畜連携**）、さらに、加工業者と一体となって厳選素材を利用した加工食品を製造し（**農工一体**）、地域内で販売・消費することで（**地産地消**）、全てを地域内で完結できる「循環型の経済圏」を構築していこうとする取組です。山形大学農学部では、平成 28 年4月から寄附講座「庄内スマート・テロワール」形成講座を設置し、地域の加工業者やスーパー様と連携して、この取組を行ってきました。そこで、これまでの取組と得られた成果をご紹介しますとともに、その成果品の一つとして、ハム・ソーセージなどの畜肉加工品や本年度に収穫した農産物の厳選素材を用いた加工品の試食会を行います。



**スマートテロワール**  
日本の明日の農村

**11/28(火)**  
13:30 ~ 17:30

**グランド エル・サン**  
クリスタルホール  
(山形県鶴岡市東原町17-7)



※写真はイメージです



お問い合わせ  
お申し込み

申込締切り：平成 29 年 **11 月 24 日(金)**  
申込み先：「庄内スマート・テロワール」収穫感謝祭 事務局  
(山形大学農学部附属やまがたフィールド科学センター内)

〒997-0369 山形県鶴岡市高坂字古町 5-3  
TEL：0235-24-2278 FAX：0235-24-2270  
✉ [nogyomu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp](mailto:nogyomu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp)

主催 国立大学法人 山形大学農学部、一般社団法人 山形県農業会議

# 講演会内容



|               |                                                        |                         |              |
|---------------|--------------------------------------------------------|-------------------------|--------------|
| 13:30 ~ 13:40 | <b>開会の挨拶</b>                                           | 山形大学 学長 小山清人 氏          | (一社) 山形県農業会議 |
| 13:40 ~ 14:10 | <b>収穫感謝祭の開催にあたって<br/>ー寄附講座「実証プロジェクト」の意義ー</b>           | カルビー株式会社相談役 松尾雅彦 氏      |              |
| 14:10 ~ 14:30 | <b>山形大学が取り組む実証プロジェクトの概要</b>                            | 山形大学農学部 教授 浦川修司 氏       |              |
|               | ■ 実証プロジェクトで得られた成果の紹介 ■                                 |                         |              |
| 14:30 ~ 15:00 | <b>1. 畑輪作体系における実証展示圃のこれまでの成果</b>                       | 山形大学農学部<br>助教 中坪あゆみ 氏   |              |
|               | <b>2. 実証プロジェクトで目指す豚の肥育と畜肉加工品</b>                       |                         |              |
| 15:00 ~ 15:20 | (1) 実証プロジェクトが目指す畜肉加工品                                  | 株式会社東北ハム 代表取締役社長 帯谷伸一 氏 |              |
| 15:20 ~ 15:50 | (2) 耕畜連携と農工一体で取組んだ畜肉加工品の紹介                             | 山形大学農学部 准教授 松山裕城 氏      |              |
| <休憩：10 分>     |                                                        |                         |              |
| 16:00 ~ 16:20 | <b>3. 庄内スマート・テロワールにおける農村ビジョンと<br/>庄内地域の消費実態調査の中間報告</b> | (一社) 山形県農業会議 五十嵐 淳 氏    |              |
| <試食会の準備：10 分> |                                                        |                         |              |
| 16:30 ~ 17:30 | <b>4. ハム・ソーセージや厳選素材を用いた農産物の加工品の試食会</b>                 |                         |              |

## 参加申込書

FAX 送信先：**0235-24-2270** (このまま送信下さい。)

|         |  |
|---------|--|
| ふりがな    |  |
| 参加者氏名   |  |
| 会社名・ご所属 |  |
| 住所      |  |
| 電話番号    |  |

**申込締め切り：平成 29 年 11 月 24 日（金）**

メールでもお申し込みいただけます。上記の内容をメールにてお知らせ下さい。

e-mail: [nogyomu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp](mailto:nogyomu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp)

※お知らせいただきました事項については、本講演会の開催目的以外で使用することはありません。

「庄内スマート・テロワール」収穫感謝祭 事務局  
(山形大学農学部附属やまがたフィールド科学センター内)

〒997-0369 山形県鶴岡市高坂字古町 5-3

TEL：0235-24-2278 FAX：0235-24-2270

e-mail：nogyomu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp



平成29年度COC/COC+シンポジウム

# オール山形による 地域創生人材育成の今とこれから

山形県内の大学・高専は、自治体、産業経済団体等と連携したプロジェクト「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC/COC+)」に取り組んでいます。各教育機関の教育・研究を通して、学生が県内企業や地域社会等の魅力にふれ、山形の将来を担う気概を醸成し、地域社会に貢献する能力を高めることを目的としています。

本シンポジウムでは、地域と大学の協働による人材育成に関わる基調講演や事例紹介、パネルディスカッションを通して、山形における地域創生人材の育成についてご参加の皆様方と考えていきます。

平成29年

# 12/15<sub>金</sub>

【時間】

## 13:00-16:20

(開場12:30)

【会場】

## 山形国際ホテル

3F 富士の間(山形市香澄町3-4-5)

**参加無料 定員120名**

**申込締切 11/30(木)**

お問い合わせ・お申込み先

山形大学 COC/COC+推進室

電話▶023-695-6264

FAX▶023-695-6229

mail▶cocsuisin@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

〒999-3101 山形県上山市金瓶湯尻19-5

山形大学総合研究所 501

13:00

開会挨拶

主催者挨拶

山形大学長 小山 清人

来賓挨拶

山形県知事 吉村 美栄子

13:10~13:50

第一部 基調講演

演題「地域創生人材をいかに育てるか」

弘前大学副理事(人文社会科学部教授) 曾我 亨

13:55~14:55

第二部 事例報告

(1)まちづくり

西川町政策推進課長 土田 伸

(2)インターンシップ

山形県中小企業家同友会共同求人委員会副委員長  
(株)サニックス代表取締役社長 佐藤 啓

(3)学生活動

山形大学 向井 硯哉(アクセルリンク米沢)  
東北芸術工科大学 追沼 翼(郁文堂再生プロジェクト)  
東北公益文科大学 八木 絵莉香  
(長期学外学修プログラム-酒田市日向地区-)  
東北文教大学短期大学部 安達 明日香  
(在宅高齢者訪問活動とぶんきょうサロン)  
鶴岡工業高等専門学校 阿部 あすか  
(テクノ・パラメディック)

(4)大学教育

山形大学学術研究院(学士課程基盤教育機構)  
准教授 荒木 志伸

15:05~16:20

第三部 パネルディスカッション

パネリスト

弘前大学副理事 曾我 亨  
西川町政策推進課長 土田 伸  
(株)サニックス代表取締役社長 佐藤 啓  
東北公益文科大学 八木 絵莉香  
山形大学准教授 荒木 志伸

コーディネーター

山形大学COC+推進室長(地域教育文化学部長)  
出口 毅

16:20

閉会挨拶



平成29年度COC/COC+シンポジウム

# オール山形による 地域創生人材育成の今とこれから

シンポジウム参加申込書 申込締切 11/30(木)

|                                               |  |
|-----------------------------------------------|--|
| ふりがな                                          |  |
| 参加者氏名                                         |  |
| 所属 <small>学生の方は<br/>学年も記入<br/>してください。</small> |  |
| お住いの市町村                                       |  |
| 電話番号                                          |  |
| Eメール                                          |  |

※ご記入いただきました事項については、本シンポジウムの開催目的以外で使用することはありません。

FAX  
送信先

**023-695-6229** このまま送信ください

Eメール

**cocsuisin@jm.kj.yamagata-u.ac.jp**

## お問い合わせ・お申込み先

山形大学 COC/COC+推進室

電話 ▶ 023-695-6264

FAX ▶ 023-695-6229

mail ▶ cocsuisin@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

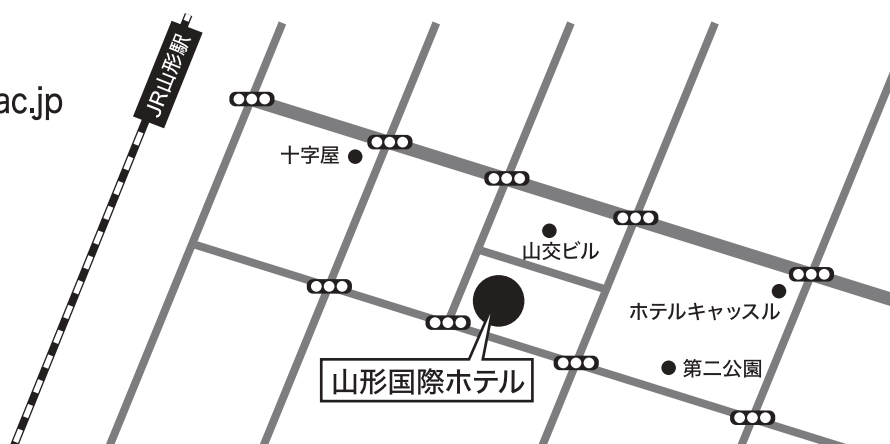
〒999-3101

山形県上山市金瓶湯尻19-5

山形大学総合研究所 501

## 会場案内

山形国際ホテル 3F 富士の間



第8回 農林業・食料・環境を考える山形県民シンポジウム

# 私たちの挑戦

参加費  
**無料**  
申込不要

平成29年

**11/17** **金**

時間：13:00～16:00

会場：東京第一ホテル鶴岡

鳳凰の間 〒997-0031 鶴岡市錦町2-10  
TEL.0235-24-7611



**13:15～14:30**

## 生徒・学生の発表

●農業高等学校（2発表） ●農林大学校（2発表） ●山形大学農学部（2発表）

**14:30～15:10**

## 基調講演『農(食)の未来のために ～新技術・ブランド・物語～』

▶講師：山形大学農学部 教授 藤井弘志氏

**15:10～15:55**

## パネルディスカッション『ココロ・オドル・農林業』

▶司会(コーディネーター)兼アドバイザー：山形大学農学部 教授 藤井弘志氏

▶パネラー：石塚寛一氏（鶴岡市・治五左エ門15代目）

小野寺紀允氏（鶴岡市・農家レストラン「菜あ」）

黒澤大輔氏（北海道岩見沢市・クロちゃん農場）

主催：山形県立農林大学校・山形大学農学部(事務局)・山形県立上山明新館高等学校・山形県立左沢高等学校・山形県立村山産業高等学校  
山形県立新庄神室産業高等学校・山形県立置賜農業高等学校・山形県立庄内農業高等学校

後援：山形県教育委員会